

注3

大学番号：018

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

北海道医療大学大学院 薬学研究科 薬学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東日本学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部総務企画課

職名・氏名 ミ ウラ セイ シ
三 浦 清 志

電話番号 0133-22-2111

（夜間） 0133-22-2111

F A X 0133-23-1669

e-mail seiji-m@hoku-iryo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東日本学園

(2) 大学名

北海道医療大学

(3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ヒロシゲ ツトム) 廣重力 (平成17年3月)	(ヒロシゲ ツトム) 廣重力 (平成24年3月)	任期満了に伴う平成24年3月22日 新たに就任 平成24年3月26日 (24)
学長	(ニイカワ ノリオ) 新川 詔夫 (平成22年4月)		
学部長	(クロサワ タカオ) 黒澤 隆夫 (平成16年3月)	(ワダ ケイジ) 和田 啓爾 (平成24年4月)	任期満了に伴う 平成24年4月1日 (24)
研究科長 学科長等	(サイトウ ヒロシ) 齊藤 浩司 (平成20年4月)	(ヒラフジ マサヒコ) 平藤 雅彦 (平成24年4月)	任期満了に伴う 平成24年4月1日 (24)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻(博士課程) ——修士(〇〇)—— 又は 博士(薬学)	4年	3人	12人	基礎となる学部等 薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	3人 () []	() []	0.33倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1 (1) [-]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	1 (1) [-]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	1 (1) [-]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	1 (1) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A					0.33			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 1	[-] -	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 1	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成21年度入学者	人	人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度入学者	人	人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
平成24年度入学者	1人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	1人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療薬学 基礎科目	医薬品開発特論Ⅰ	1・2		2		1						担当教員（講師）1名が退職したため、 後任の教員（准教授）1名を追加（24） 担当 波多江典之（准教授）
	医薬品開発特論Ⅱ	1・2		2		1						
	臨床薬理学特論	1・2		2				1				
	生体機能解析学特論	1・2		2			1 0	0 1				
	食品機能解析学特論	1・2		2		1						
	予防医療学特論	1・2		2		1						
	ゲノム解析学特論	1・2		2		1						
	感染症学特論	1・2		2		1						
	薬動学特論	1・2		2		1						
	薬物分析化学特論	1・2		2		1						
	医薬品作用学特論	1・2		2		1						
	臨床薬物動態学特論	1・2		2		1						
薬剤疫学特論	1・2		2		1							
漢方薬学特論	1・2		2									
医療薬学 応用科目	画像診断学特論	3・4		2		1						
	臨床診断学特論	3・4		2		1						
	病態解析学特論	3・4		2			1					
	地域医療実践学特論	3・4		2			1					
	環境感染学特論	3・4		2		1						
	医薬品情報演習	3・4		2			1					
	E B M実践演習	3・4		2		1						
	T D M実践演習	3・4		2		1						
	薬物相互作用解析演習	3・4		2		1						
臨床薬学総合実習	2～4		2		3							
究基 科盤 目研	実験計画演習	1	2			13						担当教員（講師）1名が退職したため、 後任の教員（准教授）1名を追加（24） 担当 波多江典之（准教授）
	情報処理演習	1	2			13						
	基礎研究総合実習	1		2		13	11	12				
研課 究題	課題研究	1～4	10			13	3					
薬 科 目 専 門 師	専門薬剤師特別講義	1～4			2	3						

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	25	1	29	3	25	1	29	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	歯科衛生士専門学校と共有 大学全体		
	校舎敷地	64,222.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	65,872.53㎡			
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	0㎡	27,800.00㎡			
	小 計	92,022.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	93,672.53㎡			
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	0㎡	57,315.74㎡			
	合 計	149,338.27㎡	1,650.00㎡	0㎡	150,988.27㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		59,373.26㎡ (59,373.26㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	59,373.26㎡ (59,373.26㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	35室	27室	31室	1室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成24年4月 教員の異動【配置替】のため(24)		
	薬学研究科薬学専攻博士課程			57 56	室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	薬学研究科 薬学専攻博士課程	257,450 [78,450] (237,932 [78,428])	3,020 [1,260] (2,993 [1,237])	3,990 [3,260] (3,977 [3,252])	5,930 (5,906)	64,300 (64,293)	2,180 (2,173)	
	計	257,450 [78,450] (237,932 [78,428])	3,020 [1,260] (2,993 [1,237])	3,990 [3,260] (3,977 [3,252])	5,930 (5,906)	64,300 (64,293)	2,180 (2,173)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	4,866.96 ㎡		437 席		275,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	1,746.49 ㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート (27,800㎡) フィットネスセンター (411㎡)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	491千円	491千円	図書購入費	53,489千円	53,489千円	
	共同研究費等	130,849千円	130,849千円	設備購入費	237,739千円	237,739千円	237,739千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	950千円	750千円	750千円	750千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		雑収入等						

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部									
薬学科	6	160	3年次10	950	学士(薬学)	1.12	平成18年度		
歯学部									
歯学科	6	80	—	580	学士(歯学)	0.82	昭和53年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
看護福祉学部									
看護学科	4	100	3年次9	389	学士(看護学)	1.18	平成5年度		
臨床福祉学科	4	90	3年次9	369	学士(臨床福祉学)	0.75	平成14年度		
心理科学部									
臨床心理学科	4	75	3年次2	277	学士(臨床心理学)	1.03		北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
言語聴覚療法学科	4	60	3年次10	238	学士(言語聴覚療法学)	1.23			
薬学研究科									
生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士(生命薬科学)	0.17			
薬学専攻博士後期課程	3	—	—	8	博士(薬学)	0.38			
歯学研究科									
歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士(歯学)	0.60		北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
看護福祉学研究科									
看護学専攻博士前期課程	2	15	—	30	修士(看護学)	1.37			
看護学専攻博士後期課程	3	2	—	6	博士(看護学)	0.67			
臨床福祉学専攻博士前期課程	2	5	—	10	博士(臨床福祉学)	1.00			
臨床福祉学専攻博士後期課程	3	2	—	6	博士(臨床福祉学)	0.00			
心理科学研究科									
臨床心理学専攻博士前期課程	2	10	—	20	修士(臨床心理学)	1.10		北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
臨床心理学専攻博士後期課程	3	2	—	6	博士(臨床心理学)	1.33			
言語聴覚学専攻博士前期課程	2	5	—	10	修士(言語聴覚学)	0.20			
言語聴覚学専攻博士後期課程	3	2	—	6	博士(言語聴覚学)	0.00			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小田 和明 (60)	平成24年4月	医薬品開発特論Ⅰ 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	石倉 稔 (57)	平成24年4月	医薬品開発特論Ⅱ 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	黒澤 隆夫 (61)	平成24年4月	薬物分析化学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	豊田 栄子 (62)	平成24年4月	生体機能解析学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習						
専	教授	大倉 一枝 (59)	平成24年4月	画像診断学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	青木 隆 (54)	平成24年4月	ゲノム解析学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	岡崎 克則 (53)	平成24年4月	感染症学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	和田 啓爾 (59)	平成24年4月	食品機能解析学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	増田 園子 (55)	平成24年4月	予防医療学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	島村 佳一 (60)	平成24年4月	臨床診断学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	富樫 廣子 (63)	平成24年4月	臨床薬理学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習						
専	教授	平藤 雅彦 (59)	平成24年4月	医薬品作用学特論 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 課題研究						
専	教授	齊藤 浩司 (58)	平成24年4月	臨床薬物動態学特論 薬物相互作用解析演習 臨床薬学総合実習 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 専門薬剤師特別講義 課題研究						
専	教授	唯野 貢司 (61)	平成24年4月	薬動学特論 環境感染学特論 TDM実践演習 臨床薬学総合実習 実験計画演習 情報処理演習 基盤研究総合実習 専門薬剤師特別講義 課題研究						

専	教授	小林 道也 (47)	平成24年4月	薬剤疫学特論 E B M実践演習 臨床薬学総合実習 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 専門薬剤師特別講義 課題研究						
専	准教授	吉村 昭毅 (51)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	遠藤 泰 (53)	平成24年4月	地域医療実践学特論						
専	准教授	高上馬 希重 (44)	平成24年4月	漢方薬学特論 基礎研究総合実習 課題研究						
専	准教授	飯塚 健治 (52)	平成24年4月	病態解析学特論 基礎研究総合実習 課題研究						
専	准教授	堀田 清 (54)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	秋澤 宏行 (41)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	村井 毅 (46)	平成24年4月	基礎研究総合実習 課題研究						
専	准教授	遠藤 哲也 (58)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	大橋 敦子 (51)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	松本 真知子 (62)	平成24年4月	臨床薬理学特論 基礎研究総合実習						
専	准教授	八木 直美 (59)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	千葉 薫 (58)	平成24年4月	医薬品情報演習 基礎研究総合実習						
専	講師	西園 直純 (43)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	山田 康司 (40)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	浜上 尚也 (48)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	大澤 宣明 (43)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	居弥口 大介 (37)	平成24年4月	生体機能解析学特論 基礎研究総合実習	専	准教授	波多江 典之 (41)	平成24年5月	生体機能解析学特論 基礎研究総合実習	平成24年3月末 居弥口大介講師 退職のため 平成24年度より担当者の変更 (当該退職教員担当部分のみ) (24)
専	講師	寺崎 将 (38)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	小林 大祐 (34)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	木村 真一 (46)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	柳川 芳毅 (43)	平成24年4月	臨床薬理学特論 基礎研究総合実習						
専	講師	町田 拓自 (36)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	小田 雅子 (47)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	伊藤 邦彦 (43)	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	中山 章 (44)	平成24年4月	基礎研究総合実習						

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
16	21	37	0	16	21	37	0	
(16)	(24)	(40)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	居 弥 口 大 介	他機関への転職により退職のため
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1の教員については、担当授業科目が複数教員により分担している科目であり、当該退職教員の担当部分については、同分野の専任教員（准教授）が後任として本研究科に就任し、当該部分を担当するため、学生の履修等への影響はない。

学生への周知については、履修要項に明記するとともに、ガイダンスにおいて授業科目担当者に関する説明を行った。

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> * FD委員会【全学組織：FD委員会規程（別添）】 * 薬学部FD委員会【学部内組織：規程なし】 <p>b 委員会の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> * FD委員会：7回開催（平成23年度実績） * 薬学部FD委員会：1回開催（平成23年度実績） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> * FD委員会：①年間事業計画 ②新任教員研修実施要領 ③FD研修（基本編）実施要領 ④FD研修（テーマ編）実施要領 ⑤授業アンケート実施要領 ⑥授業公開実施要領 等 * 薬学部FD委員会：①薬学教育セミナー実施要領 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * FD委員会関係：新任教員研修、FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート 授業公開（試行実施） * 薬学部FD委員会関係：薬学教育セミナー・ワークショップ <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> * FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員研修会：講義【年1回・4月（1日）】 ・ FD研修（基本編）：講義及びワークショップ【年1回・4月（1日）】 ・ FD研修（テーマ編）：講義及びワークショップ【年1回・8月（1日）】 ・ 授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】 ・ 授業公開：各学部対象教員2名（各1授業科目）【年1回・後期】 * 薬学部FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬学教育セミナー・ワークショップ：講義及びワークショップ【年1～2回】 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> * FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員研修：平成24年4月2日（月） 13：00～16：15 【薬学部対象教員：8名参加】 ・ FD研修（基本編）：平成24年4月7日（土） 10：00～17：00 【薬学部対象教員：8名参加】 ・ FD研修（テーマ編）：平成23年8月11日（木） 9：00～20：00 【薬学部教員：5名参加】 * 薬学部FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回薬学教育セミナー：平成23年8月25日（木） 16：00～17：30 【薬学部教員：65名中42名参加（参加率：64.6%）】 ・ 第2回薬学教育セミナー：平成23年11月21日（月） 16：00～18：15 【薬学部教員：65名中33名参加（参加率：50.8%）】
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

第1回薬学教育セミナーでテーマとした「共用試験」及び「新薬剤師国家試験」より得られた新たな知見にもとづき、多様な学力の学生に対応した授業改善への取り組みを強化している。
また、第2回同セミナーでテーマとした「発達障害」にもとづき、様々なバックグラウンドを有する学生が入学をしてくる状況で、個々の学生に対応した授業運営や学生支援についての配慮に努めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・ 授業評価アンケート：実施有 ・ 実施時期：年2回・前後期末（各授業科目最終授業時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

・ 大学教育開発センターの年次報告書に授業評価アンケートの実施の概要及び集計並びに解析の結果を掲載しており、当該報告書（冊子）を全学配付するとともに、本学ホームページ掲載している。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

当該博士課程は、疾病の多様化や高齢化社会の進展などによる医療現場の環境の変化等に対応し高度先端医療や地域医療の推進を担うことのできる高度専門職業人の養成を設置の目的としたところであり、初年度の入学者は保険薬局薬剤師として一定のキャリアのある社会人で、当該博士課程の「医療現場において後進の薬剤師に対し指導的な役割を担える人材養成」という所期の目的達成に向けたスタートにふさわしい学生であり、開設時の学生確保において一定の成果を得た。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 平成24年6月1日 公表予定

b 公表方法

・ 自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。
・ 大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。
・ 平成29年度に第4回目の評価機関（大学基準協会）の申請を予定している。

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年度中 時期未定)

- (注) ・ 届出時の計画変更（又は未実施）の有無に関わらず記入して下さい。